

長谷川誠子

12月例会 議事録

日時： 2025年12月4日(木) 14:00~16:00

場所： 川本本店

出席： 川本 阪田 阪田 笹嶋 杉田 鈴木 清野 中村 長谷川 牧 吉田 10名

- 1 11月21日(金)に三田市を散策しました。参加者 川本 阪田 阪田 杉田 鈴木 中村 長谷川 牧 松岡 吉田 吉田 11名 2~3 ページに当日の記事を掲載しています。
- 2 重要文化財、北浜「小西家住宅」の見学を12月12日(金)に実施。参加者 川本 阪田 阪田 杉田 鈴木 清野 谷木 中村 長谷川 牧 松岡 11名。4~5 ページに当日の記事を掲載しています。
- 3 2026年の行事予定 3/8(日)梅田ヤンマービル 4/2(木)お花見、行先「けいはんな記念公園」 5月京都上賀茂周辺でかきつばた見学 6月ダムパークいばきたまたは資生堂担当杉田。10月草津本陣など 11月尼崎新コース 12月淀屋橋彫刻散策と淀屋橋ツインタワー。
- 4 重要文化財である奈良女子大学の建物を見学できます。4月20日頃から5月10日ごろの1週間限定、先方の日程に合わせて奈良まち歩きを企画します。担当中村
- 5 2026年1月6日(火)20時から テレビ大阪で「なんでも鑑定団 in 茨木」が放映されます
- 6 今後の例会実施日 1月なし 2月なし 3/5(木) 4月なし 5/7(木) 6/4(木)

以上



田園文化都市、三田を訪ねて

実施日 2025 年 11 月 21 日(金)

参加者 川本 阪田 阪田 杉田 鈴木 中村 長谷川 牧 松岡 吉田 吉田 11 名

秋も深まるこの季節、色とりどりの木々が迎えてくれる中、JR 線を乗り継ぎ三田へと向かいました。まずは麒麟ビール神戸工場を訪問。缶ビールをイメージした送迎バスは何ともユニーク。到着するとまず目に飛び込んできたのは、巨大な工場の外観。そのあと、ガイドさんからの解説でビールの原料や麒麟の看板商品「一番搾り」の製造工程を学びました。麦芽の味とホップの香りを体感し、ビールの奥深さを体感しました。製造ラインは自動化され壮観な光景が広がっていました。「ビールって、こんなにきれいな工場で作られているんだ！」と感嘆の声。そこで働く人は 7~8 人、探して数えました。そして、見学の締めくくりはお楽しみの試飲タイム。3 種類のビールを味わいながら「やっぱり一番搾りが一番！」と、文字通り一番の満足顔が広がりました。

お腹がすき始めた頃、併設の「丘の上レストラン」で昼食タイム。地元食材を使ったサラダバイキングなどの料理がずらりと並んでいました。牛肉のビール煮込みはまさに絶品。口に入れた瞬間、「とろける牛肉…！」「おいしい!!」と思わず唸るほど。料理を楽しむため、何回も席を立ちました。

午後は建築探訪です。丹下健三設計の「人と自然の博物館」は、橋の下に建物を作るという前衛的な設計が特徴。橋の影と建物が織りなす独特の景観にガラス張りの橋はアートなのか…」との感想もありました。一方、野鳥がガラスの壁にぶつかり、鳥と共存する難しさもあるとのことでした。建物の前には人工池が設けられており、池に写る木々が絵になり、紅葉の美しさと相まって深まる秋を堪能できました。

三田図書館の見学は本日のメインイベントです。牧さん自身が設計した建物をご本人の解説付きで巡る贅沢な体験。「屋根の造りにこだわりがあるんです」「天井の高さに注目してください」との説明に、うなずきながら、建築の美を味わいました。鬼門の位置にもこだわりがあるとのこと。開館後 36 年経過しても、多くの来館者が訪れている図書館には鬼を避けるご利益があったと思われます。館内では、三田焼きと青磁の勉強会も実施。東洋陶磁美術館の解説者・吉田さんの案内で、三田焼きの特徴や青磁の美しさを学びました。

こうして、紅葉の美しさを目に焼き付け、建築と陶磁の知識を深め、ビールでほろ酔いになったこの日は、充実した一日となりました。来年はどこで紅葉を楽しみましょうか。



キリンビール神戸工場

「キリン一番搾りおいしさ実感ツアー」

はビール好きにはたまりません。

送迎バスの通称は「ラガーバス」

缶ビールの外観をしています。



「人と自然の博物館」です。

38年前の1998年に開催された「21世紀公園都市博覧会」の中核施設でした。

牧さん設計の三田図書館です。

周辺の景観にとけ込んで、たくさん
の人で賑わっていました。



ビルの谷間に明治の建築

小西家住宅を探訪

実施日 2025 年 12 月 12 日(金)

参加者 11 名 川本 阪田 阪田 杉田 鈴木 清野 谷木 中村 長谷川 牧 松岡

当日の様子

今回の舞台は大阪北浜「旧小西家住宅」。この建物は接着剤「ボンド」で名高いコニシの本社建物として 2020 年まで使用されていました。この年、コニシ創業 150 周年を機に資料館としてリニューアルされました。明治の商家が令和でも堂々現役です。コニシの創業者筋にあたるという小西さんを含めたお二人の解説で建物内を案内してもらいました。コニシに詳しいお二人の熱量は想像以上。気がつけば 1 時間。壁も柱も調度品もお宝クラス。建物の魅力を余すことなく堪能できました。

中庭に出ると、視界の先には 50 階建ての高層ビル。振り返れば明治、見上げれば令和という時代のサンドイッチ状態に一同しばし無言。台所には、家族や従業員約 50 人分の食事をまかなったという巨大かまどがあり、「これで毎日!？」と現代の自炊事情とのギャップを実感しました。震災や戦争をくぐり抜けてきた建築のたくましさには、思わず背筋が伸びます。

見学後は本格的日本料理の「光林坊」で昼食。名店の和食に、建築談義も箸も止まらず、心も胃袋も大満足の日となりました。企画・案内をしていただきました牧さんと長谷川さんに感謝いたします。

参加者の感想

- 歴史ある建物を体験できるのはすごいです。
 - 現地でガイドさんの解説が聞けるのはありがたいです。
 - 現存している明治の建物は貴重ですね。
 - 「光林坊」地下へ降りてからの雰囲気グッド、食事もおいしかったです。
 - 昼食後に現地解散のスケジュールは余裕ができて、参加しやすいです。
 - 堺筋を通るたびに何の建物かわかりませんでしたが、ようやく納得できました。
- です。



小西家住宅の台所です。煙や湯気がこもらないようにするため吹き抜けが設けられていました。この吹き抜けは「かまど」からの煙を効率よく逃がす役割がありました。たった 100 年で生活は大きく変わるものですね。

小西家住宅は単なる古い建物ではありません。大阪の商業の歴史を感じられる建物でもありました。
サントリーの創業者鳥居信次郎はコニシの前身である「小西儀助商店」に入社。当時「小西儀助商店」は薬だけではなく、洋酒の製造にも積極的に取り組んでいました。信次郎はここで働きながら、輸入品のワインに触れ、その調合技術を習得しました。へえーそうなんだ。



薬の神様、少彦名(すくなひこな)神社です。
江戸時代、コレラが大阪で大流行したときお守りとして「張り子の虎」が作られ人々に配られました。その後コレラが終息したことから張子の虎が少彦名神社のシンボルになっています。

昼食会場の「光林坊」です。和の味覚を満喫しました。





彩都東部地区D区域の開発が始まる

杉田 宗三

現在造成中の彩都東部地区AおよびC区域（共に山手台隣接地）が平成27年春に完工予定です。これに続いてD-1区域とD-2区域土地区画整理事業が始まるところになり、11月16日に山手台の住民に対する説明会が山手台コミュニティセンター開催されました。

【事業概要】

・D-1区域

事業者：D-1区域土地区画整理準備組合

業務代行：株式会社フジタ

西日本開発事業部

事業期間：2026年4月～
2031年10月

・D-2区域

事業者：阪急阪神不動産株式会社

（区域の殆どが同社の所有地のため）

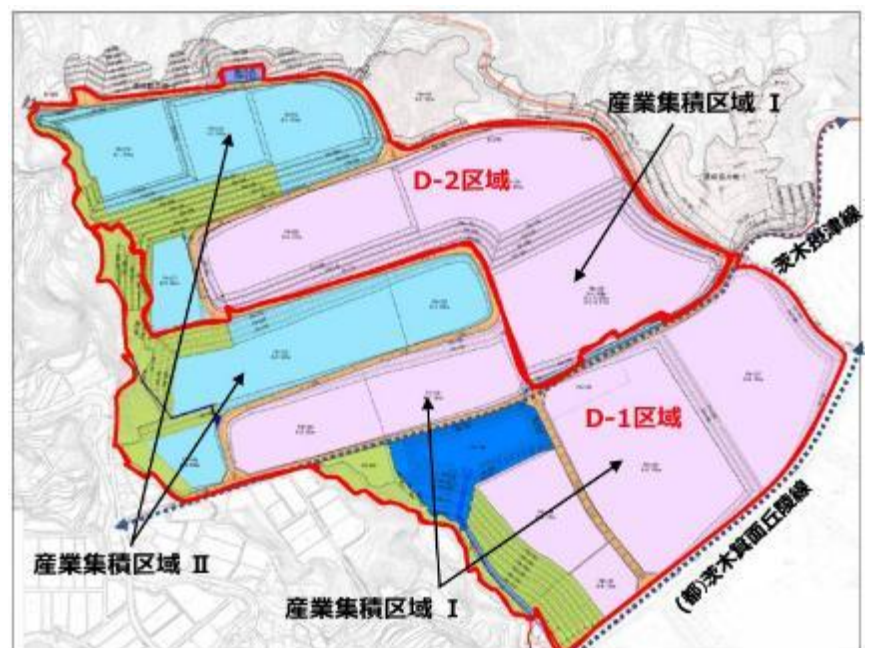
事業期間：2026年4月～
2031年10月

【今後の工程】

- ・2026年1月～3月：造成工事にかかる各種許可申請
- ・2026年4月：造成工事に着工

これにより、山手台から見えていた山や森などの自然の景色が殆どなくなっていくことになります。

ただ、以前に街歩き行事として訪ねたことのある「椿山」は、彩都東部地区内にありますが、造成対象から外れています。





「Z世代」って何 ！？

杉田 宗三

マスコミで“Z世代”の話題がよく出てくるけど“Z世代って何か”が判らない。

そこでネット検索してみたら沢山の解説が出てきました。今マーケティング界で大きな注目をあびている世代のようです。要約を下記します。参考になるでしょうか。

■名前の由来

アメリカでは、アルファベットによって年代を分類していて、1960年代なかば～1980年ごろに生まれた人たちは「**X世代**」、1980年～1990年代なかばに生まれた人たちは「**Y世代**」と呼びます。その流れを継いで、1990年代後半～2010年代なかばに生まれた人たちは「**Z世代**」と呼ばれています。2025年時点で10代なかば～20代後半の人たちが、Z世代にあたります。

なお、Y世代は、**ミレニアル世代**とも呼ばれます。ちょうど2000年頃に成人や社会人になる世代で「millennials(ミレニアルズ)」と米国で呼ばれるようになり、日本ではミレニアル世代と呼ばれるようになりました。

■Z世代とミレニアル世代の違い

インターネットが普及するなかで成長したミレニアル世代は、ITに関する知識が自然に備わり、デジタル機器を難なく使いこなせます。

そんなミレニアル世代のさらに上を行くのが、Z世代なのです。スマートフォンやタブレットなどの電子機器を、説明書などを読まずに直感的に操作できる人がほとんどです。これらの特徴から、Z世代は「デジタルネイティブ」とも呼ばれています。



■Z世代が重要な理由

2025年現在、10代なかば～20代後半であるZ世代は、今後ますます経済活動が活発になっていきます。当然、あらゆる企業にとってZ世代は重要な顧客となるでしょう。

またSNSでの発信力が高い点も、Z世代が重要とされる理由のひとつです。多くのZ世代が日常的にSNSを駆使し、日々のあらゆるできごとを発信しています。

■Z世代の購買の特徴

- ・自分の価値を大切にする。好きなことや関心があることについては時間もお金も使う。
- ・多様性をもとめている。固定観念や偏見で判断することに抵抗感が強い。
- ・情報収集してから購入する。

次回のイベント

街歩き 2026 年 3 月 8 日(日) 梅田ヤンマービルとウメキタ

—— 次回『街 ing いばらき』例会のご案内 ——

日 時： 令和 8 年 3 月 5 日(木) 14:00~16:00

場 所： 川本本店 茨木市上泉町 6-29

議 題： 1. 3/8(日)のヤンマービル
2. 4/2(木)のお花見
3. 2026 年のイベント 他



『街ingいばらき』とは？

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年 5 回程度の街歩きを行っています。

参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。

とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。

入会金 1,000 円 会費 年間 2,000 円(一か月 170 円)

« 編集後記 »

2025 年が終わります。今年は関西万博で活気づく一年の中、街 ing では 2 月富田、4 月京都西山、5 月高砂、6 月伏見屋 10 月伊丹、11 月に三田、12 月には北浜小西家を訪ねました。それぞれの土地の歴史や風景、ガイドさんとの出会いに新たな発見がありました。無事故であったことも何よりでした。来年もまた新たな街へ足を運び、街歩きを楽しみたいですね。1 年間のご愛読、ご参加ありがとうございました。よいお年をお迎えください。新年もどうぞよろしくお願いいたします。

« 編集・発行 »

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目 10-22

Tel/Fax 072-627-3480

e-mail: ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

街 ing ホームページ : <http://www.machiing-ibaraki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。

2025 年 12 月現在での訪問者は 10,630 <前月比 30 の増加> となっています。

